

承認指令書 番号	農林水産省指令 3動薬第155号
販売開始	1999年10月
再審査結果	2004年 8 月

# フェロセル CVR

(猫ウイルス性鼻気管炎・猫カリシウイルス感染症・猫汎白血球減少症混合生ワクチン(シード))

本剤は弱毒猫カリシウイルス F-9株、弱毒猫ウイルス性鼻気管炎ウイルス FVRm株及び弱毒猫汎白血球減少症ウイルス Snow Leopard株を猫腎臓由来の株化細胞で増殖させて得たウイルス液の混合液に安定剤を加え、凍結乾燥したものです。  
乾燥ワクチンは帯黄灰白色で、添付の溶解用液を加えて振り混ぜると、帯黄淡赤色透明の溶液になります。  
溶解用液は注射用水で、無色の液体です。

## 【成分及び分量】

乾燥ワクチン1頭分(1バイアル)中

成分	分量
主剤	猫腎株化細胞培養弱毒猫ウイルス性鼻気管炎ウイルスFVRm株(シード)
	10 <sup>3.6</sup> TCID <sub>50</sub> 以上
	猫腎株化細胞培養弱毒猫カリシウイルスF-9株(シード)
	猫腎株化細胞培養弱毒猫カリシウイルスF-9株(シード)
	10 <sup>5.5</sup> TCID <sub>50</sub> 以上
	猫腎株化細胞培養弱毒猫汎白血球減少症ウイルスSnow Leopard株(シード)
	猫腎株化細胞培養弱毒猫汎白血球減少症ウイルスSnow Leopard株(シード)
	10 <sup>2.6</sup> TCID <sub>50</sub> 以上
	安定剤
	カゼイン酵素分解物
	11.52～14.56mg
	ゼラチン
	ゼラチン
	8.4～12.6mg
	白糖
	白糖
	42.75～55.13mg
	保存剤
	30μg以下

溶解用液1頭分(1バイアル)中

成分	分量
溶剤	注射用水
1.1～1.3mL	

## 【効能又は効果】

猫ウイルス性鼻気管炎、猫カリシウイルス感染症及び猫汎白血球減少症の予防

## 【用法及び用量】

乾燥ワクチンを溶解用液で溶かし、その全量を9週齢以上の猫の皮下に3～4週間隔で2回接種する。

## 【使用上の注意】

### (基本的事項)

- 守らなければならないこと  
(一般的注意)
  - ・本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
  - ・本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
  - ・本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。  
(猫に関する注意)
  - ・注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから接種すること。  
(取扱い及び廃棄のための注意)
  - ・外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
  - ・使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
  - ・本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。
  - ・小児の手の届かないところに保管すること。
  - ・直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。
  - ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
  - ・ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取扱うこと。
  - ・使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。
  - ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。
- 使用に際して気を付けること  
(使用者に対する注意)
  - ・誤って人に接種した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って接種された者は、必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴				
微生物名	抗 原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
猫カリシウイルス	否	生		
猫ウイルス性鼻気管炎ウイルス	否	生	無	－
猫汎白血球減少症ウイルス	否	生		

猫カリシウイルス、猫ウイルス性鼻気管炎ウイルスおよび猫汎白血球減少症ウイルスは、人に対する病原性はない。

(猫に関する注意)

- ・注射器具は1頭ごとに取り替えること。
- ・本剤の接種後、副反応(アナフィラキシー等)による事故を最小限にとどめるため、接種後しばらくは観察を続けること。帰宅させる場合は、なるべく安静に努めながら帰宅させ、当日は帰宅後もよく観察するよう指導すること。
- ・本剤の接種後、少なくとも2～3日間は安静に努め、シャンプーや激しい運動は避けるよう指導すること。
- ・接種後、免疫が得られる3～4週間は猫同士の接触を避けるよう指導すること。
- ・本剤接種後、まれに疼痛、腫脹、発熱、嘔吐、ときに元気・食欲減退、下痢等を示すことがあるので、接種後十分に観察を行なうこと。
- ・副反応(アナフィラキシー反応等)が認められた場合、重篤な症状を示すこともあるので、症状に応じた処置を直ちに行うこと。
- ・副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱いに関する注意)

- ・一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。

【専門的事項】

①警告
<ul style="list-style-type: none"><li>・本剤の接種前には健康状態について検査し、次のいずれかに該当すると認められる場合は、接種しないこと。</li><li>・重篤な疾病にかかっていることが明らかなもの。</li><li>・以前に本剤又は他のワクチン接種により、アナフィラキシー等の異常な副反応を呈したことがあることが明らかなもの。</li><li>・1年以内にてんかん様発作を呈したことがあることが明らかなもの。</li></ul>
②対象動物の使用制限等
<ul style="list-style-type: none"><li>・本剤は妊娠猫には使用しないこと。</li><li>・対象猫が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、接種の適否の判断を慎重に行うこと。</li><li>・発熱又は下痢等の臨床異常が認められるもの。</li><li>・アレルギー体質であるもの。</li><li>・疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの。</li><li>・以前の予防接種で異常が認められたもの。</li><li>・寄生虫の感染があるもの。</li><li>・発情中のもの又は授乳中のもの。</li><li>・明らかな栄養障害があるもの。</li></ul>
③重要な基本的注意
<ul style="list-style-type: none"><li>・移行抗体を保有している子猫あるいは免疫抑制剤を用いて治療された猫はワクチンの効果が阻害されることがあるので接種時期を考慮すること。</li><li>・潜伏感染の状態の猫に接種した場合、その疾病を誘発することがあるので注意すること。</li><li>・ワクチン接種後、一過性のウイルス排泄が認められるが、ワクチンウイルスの安全性については確認されている。ただし、ワクチン接種後2週間程度はワクチン未接種猫との接触は避けること。</li><li>・初回免疫以降の追加免疫のための注射に関しては、個体の生活様式や生活環境等を考慮して判断すること。</li></ul>
④副反応
<ul style="list-style-type: none"><li>・過敏な体質の猫では、まれにアレルギー反応[顔面腫脹(ムーンフェイス)、掻痒、じんま疹等]又はアナフィラキシー反応[ショック(虚脱、貧血、血圧低下、呼吸速拍、呼吸困難、体温低下、流涎、ふるえ、けいれん等)]が起こることがあるので、接種後しばらくは注意し、観察すること。</li></ul>
⑤取扱以上の注意
<ul style="list-style-type: none"><li>・本剤の溶解は使用直前にいき、溶解後は速やかに使用すること。</li></ul>
⑥その他の注意
<ul style="list-style-type: none"><li>・本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。</li></ul>

【有効期間】

製造後2年3か月間

【包装】

1回分×10(乾燥ワクチン×10バイアル、溶解用液×10バイアル)

【製品情報お問い合わせ先】

ゾエティス・ジャパン株式会社

〒151-0053

東京都渋谷区代々木3-22-7

TEL：0120-317-955 FAX：0120-317-965

月曜日～金曜日 9：00～12：30、13：30～18：00受付

※土日祝祭日および弊社休業日は除く。

【製造販売(輸入)】

ゾエティス・ジャパン株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-22-7

【Manufacturer】 Zoetis Inc. Kalamazoo, MI 49007, USA

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

52286900